



昨年のGWに撮影。霊仙寺湖芝広場は爽やかな風の中、山桜は満開でした。

photo 遠藤 美代子

特 集

桜を守る

袖之山しだれ桜保存会に話を聞く

主な掲載記事

桜を守る	2～5
おじゃまします・ど〜こだ!?	6
いづな歴史紀行・あっちこっちこの町	7
公民館ダイアリー	8～10
アルバムからこんにちは・さんぽ道	11
はぐくむ	12



約15年前の袖之山しだれ桜。高岡郵便局に飾ってある写真です。矢島 政弘さん撮影

桜を守る

2019年5月1日から、新しい年号の「令和」となります。

令和の令の文字は、万葉集の梅の花の歌から引用したものともいわれています。新しい年号となった今、気の合う仲間とお花見をしながら、新たな出発を楽しんではいかがでしょうか。

編集委員 高橋 瑞穂、速水 克明、天野 奈津美

今年もお花見の季節がやってきました。

この時期、「花見だー」と浮かれているのはお町の人々。飯綱町の多くの住民は顔を下に向けて畑を耕し、作物を育てています。とても忙しいので、わざわざお花見をしている暇はないですね。畑への道中や手足が疲れたときに、近くの桜をちらっと愛でるくらいでしょう。

今では県外からも訪れるようになった袖之山のしだれ桜も、一昔前は忙しい畑仕事の合間に「今年も咲いたな」と

地元の方だけで楽しむ桜だったようですが、日本画家の

中島千波画伯が「袖之山枝垂桜」を描かれたということもあり、町外からの注目度が上がって名の知れた観光地となりました。

今回は「袖之山しだれ桜保存会」にお話を伺いながら、桜について考えていきたいと思っています。

日本人と桜

お花見という文化は、今から千年〜2千年前から続いているという説があります。



ソメイヨシノの花

田んぼの神様におもてなしをするために、村人が桜の周りで儀式を始めたことがお花見の原点といわれていて、冬は山の上にいる田んぼの神様が春になると村に戻って桜の花を咲かすという考えから、豊作を祈るための儀式として桜が用いられたようです。平安時代になると儀式としてではなく、貴族の間で満開の桜を見て詩を詠むという文化が生まれました。鎌倉時代には貴族だけではなく武士にも桜を見る文化が広まり、江戸時代には庶民でも一般的になったといわれています。桜を見ながら食事をしたり、歌を唄ったりと賑やかな現在のスタイルになったのは、江戸時代からといわれています。

日本人が桜を好む理由はたくさんありますが、視界一面を覆うように美しく咲き誇る花を愛でることで、春到来の喜びを感じているのだと思います。また、繊細な色で華やかな咲き方をする一方で、すぐに散る姿やその潔さに、私達日本人は好感を覚えるといわれています。桜の散り際は昔から武士道精神の象徴として例えられ、このようにあり



牟礼駅の桜

たいという生き方そのものの花であることは間違いないと思います。

そして、桜は日本の国の花の一つ。国の象徴、私達の誇りにもなっています。

袖之山のしだれ桜

歴史ふれあい館の小山さんによると、袖之山のしだれ桜は、もともと袖之山安養寺の旧境内に植えられていた桜で、その当時の住職さんが植えたのではないかと伝わっています。切通しの道路を隔てた高台にあるこの桜は、かつて

「安養寺の糸桜」「安養寺の柳桜」と呼ばれていたそうです。平成8年には牟礼村指定文化財として指定されていて、幹周囲は5・1m、樹高9m、枝張り14m、樹齢300年以上と推定され、飯綱町のみならず長野県を代表するシダレザクラの一つとして、その後平成17年に長野県指定文化財の天然記念物に指定されました。以前は公民館の維持管理として住民の皆さんが桜の面倒を見ていたと思いますが、桜を守る会を募って、現在はしだれ桜保存会の皆さんで桜を守っています。

しだれ桜の元気がなくなってきたのは道を作ってからではないかといわれています。昭和30年、40年に根っこが露出してしまったので土止め工事を行いました。そのときに土壌改良をしたり、土をほぐして活性炭を入れたり、ピートを入れて老いをゆつくりとさせる努力をしましたが、保存会の皆さんはしだれ桜が弱くなってきたので南側の枝が枯れてきたのではないかと心配されています。

県のパトロールが巡回をされていて、変化があれば県の審議員に報告をしています。枯れ枝を切るなどの現状変更をするときにも飯綱町が県に申請をして、樹木医さん監督のもとで、地元の保存会の皆さんに作業をお願いしています。例えば、有機質を入れたり、桜の根元を人の足で踏み固めないように柵を設けたりして、桜の木が健康に育つようにしています。根の周りを足で踏んで固めてしまうのが一番のストレスとなり、根が地中から出ないように、毎年、藁を敷きつめています。

袖之山のしだれ桜は地域住民の心の拠り所として、そして袖之山のシンボルの花とし

て、今も多くの人々を魅了しています。枯れ枝が多くなっていますが新しい枝も出ていますので、あたたかく見守っていききたいと思っています。

袖之山しだれ桜保存会会長の高野恂さんに話を伺いました。

「保存会の会員は現在22人。みんなで袖之山のしだれ桜を大事にしていこうってことで保存会をつくったんだ。子どもたちのころはしだれ桜の周りが遊び場で、さくらんぼの実を食べたり桜の木の周りを飛び

回ったり、みんなで遊んでいたよ。そのころから幹の大きさは変わっていないけど、枝葉が少なくなってきたかなと思う。昔は幹が見えないほど葉っぱがついていたからね。人もそうだけど、歳をとって弱ってきたかなと感じるよ。木に苔が生えてくるようになったしね。袖之山のしだれ桜は村の象徴だから、長生きしてほしいと思っている。村のみんながしだれ桜を好きなんだよ」。

今年度の保存会の活動は4月7日に添え木外し、掃除、



袖之山しだれ桜保存会会長 高野 恂さん

冬囲い外し、船石のしめ縄替えから始まりです。そして桜の開花を迎える4月21日に県会議員、町長、教育長、小山学芸員を招いて、待望の花見会を行います。「21日はまだ満開ではないと思うけど、花より団子っていうことで楽しむよ」と笑顔で話していました。

観光客のために…

開花期間中は観光客に楽しんでもらおうと、土手にカタクリの花を植えたり、夜間のライトアップを設置したりしています。また、トイレの準備、清掃、ごみの片づけなども無償で行っています。

「ライトアップは10年前からやっているかな。観光で来てくれた人は喜んでくれていると思う。ライトはタイマーをセットして点灯、21時に



カタクリの花

消えるようになっていく。ライトの設置を毎年やっている、どの角度から照らすと良いとかわかってくるから、みんなと交代でやっているよ。カタクリの花は小さいから気が付かない人もいるけれど、年々増えてきているね」「トイレ掃除は区の代表と保健福祉補導員OB会がやってくれている。きれいにしておきたいから1日に2回掃除をしているよ。最近はおみを捨てていく人も多いから大変なんだ」。

飯綱町の宣伝やネット情報



アップルミュージアムの桜が開花

来年も再来年も

「桜が散った後は、虫や病気にかからず来年も綺麗な花が咲くように、年に2回の消毒と3回の草刈りをしていて、11月末には添え木をして、冬囲いをしているよ。まだまだ元気でいてもらいたいよね。自然の物だから、人の手を加えずに、自然と共に桜を守っていききたいと思っている。よその県には樹齢500年とかあるから、これからもきれいな花を咲かせ続けてくれると思っているよ。でも俺らも歳をとって何をやるにもごしなくなってきたから、いつまでできるかな」。

高齢化が進む飯綱町。袖之山のしだれ桜保存会の皆さんも高齢で体が動かなくなってきたというです。しだれ桜を守りたいという思いは変わりませんが、発足当時に比べれば会員数が減っています。あとを任せられる若い衆も加わっていません。このような厳しい現実を抱えています。が、こぼれるように咲く美しい桜が来年も再来年も、末永く咲き誇るようにと、人と人が助け合いながらしだれ桜を育ててくれています。

の効果で、しだれ桜を見に来る観光客は年々増えているようです。たくさん観光客にしたら桜を見てもらえるのは嬉しいことなのですが、その反面、生活に支障が出るようになってしまいました。

「せまい生活道路に観光の大型バスが数台入ったりもするから、道がふさがれて通れないことがあった。しだれ桜が咲いているのは10日間位だからあつという間なんだけど、ちょうど畑仕事で忙しい時期と重なってしまうから、あの道を通れなくなるっていうのは本当に困っているんだ」。

言葉にすれば簡単に過ぎてしまいうように思えますが、10日間も普段の生活ができなくなってしまう世帯があるというのは厳しい現実だと思えます。地元のにしだれ桜を大切に守っていききたいという気持ちだけで集まった保存会の皆さん。その善意だけでたくさん観光客を受け入れるのは限界があるのではないのでしょうか。現在も飯綱町役場からの協力を得ながら活動をされているようですが、更なる連携を築きながら、住民にとっても観光客にとっても満足のいく期間となるようにと願わずにはいられません。

桜が花を咲かせている期間は短い。自然の営みと、それを守り続ける方々に感謝をし

ながら、今年の桜を楽しみた
いと思います。そして来年も
...



三水小学校の桜

おじゃま
しまあ

南インド料理のミールスを提供するカフェ 「MON marushime」

福井団地内にある隠れ家的なお店モンマルシメにおじゃましました。

南インドの定食「ミールス」を提供するカフェとしてひっそりとOPENし、5年目の春を迎えた知る人ぞ知る店です。

そもそも南インド料理とは、インド南部の州を中心とした地域で食べられている料理。大きな特徴は、菜食が中心であることが多い。かたや、北インドでは、動物性のこってりメニューが目立ち、ふたつの地域は全く逆の嗜好といえます。

その中であって、ミールスとは野菜を中心に、豆やココナッツ、スパイスなどを使っ



た汁物や炒め物、煮物などのおかずをご飯と混ぜながら食べる定番のランチ。

カレーのようでカレーじゃない、ミールスなのです（左下写真）。しかしなぜ、南インド料理で団地内を選んだのでしょうか？

2年間弱夫婦で世界一周旅行に行き、その中で一番美味しいと思ったのが南インド料理。団地内なのは奥様のご両親の別荘がここにあったことと、カフェの聖地と言われている「カフェラファミーユ」（茨城県結城市）も住宅地内にあり地域の人にも他から来る方にも愛されている場所となっているのを目の当たりにし、地域に愛される「南インド料理のミールス」を提供するカフェを目指してこの地に店を構えたのです。そして、数年前から自分たちで作った無農薬野菜を使って、お客様にその時期に合ったミールスを提供しています。

建物は地元建築業者をお願いしましたが、内装は全て自分たちで1年間掛けて作



ここでしか味わえないミールス

り上げました。自分で手掛けたものだからこそ、年月を積み重ねてさらに味の出てくるものになるのですね。

お店をやっている嬉しかったことは、地元のみならず遠くからミールスを求めて来てくださるお客様がいらっしゃる（交通の便の悪いこんな所まで...）。その中でもインド人の方々が観光で地獄谷の猿を見た後にわざわざ来てくれて、本場と同じ味だと褒めてくれたことなのだとか。

南インドでは定番のランチながら、実は日本では特化した店が少なく、この飯綱町で味わえることに驚く人も。百聞は一見に如かず。ご自分の舌でミールスを味わってみてはいかがでしょう？ TEL026-121712009 (nishi)

これは、どこから撮った写真でしょう。

ヒント 飯綱町には、名前のついた坂がたくさんあります。この石垣の美しい坂はこの坂でしょう？

ど〜こだ!?

80号「ど〜こだ!？」答え

左手に髻山、正面に飯縄山を望む平出と袖之山を結ぶ道路です。髻山は古の時代には上杉謙信軍が陣を取り武田軍との戦いに備えたといわれています。



いいづな歴史紀行

Vol.81

深沢の石仏（お大日さん）

深沢の国道18号線の交差点（信号・牟礼駅入口）を豊野方面に向かって70mほどの南側道路下に、大きな岩があります。農協の駐車場側からみると、



その大きさがよくわかります。この岩には、弘法大師の「つめぼりの像」と伝えられる「大日如来」が刻まれています。

「つめぼりの像」といわれるように、彫りが浅く飾りの少ない簡素な像で

す。現在は像とその周囲は赤く塗られています。

倉井村の延宝8年（1680）の検地帳に「石仏」の字が見えており、それ以前から存在していたものと思われます。また、かつては飯綱中学校付近の天神原と呼ばれる高台にあったとも伝えられています（三水村誌）。

昭和8年3月、この石仏をみた著名な郷土史家栗岩英治は、「此石佛は類例も稀、年代も足利時代（室町時代）のものと思ふ」と記述しています（「芋川雑記」『信濃』第2巻第4号）。当地の歴史を語る大変貴重なものですが、年号等の銘文がありません。加えて、栗岩氏が指摘しているように、類例も少ないことから以後の研究は進んでいません。

地元では、「おだいにちさん」と呼ばれ、毎年10月14日を祭日としてお祀りしています。

（いいづな歴史ふれあい館長 小柳義男）

シリーズ人権〜ねがい

(81)

昭和から平成、そして今「令和」の時代が始まるうとしています。時が流れても決して忘れてはならないのは戦争の悲劇ではないでしょうか。

2013年4月満蒙開拓の史実を記録、保存、展示、学習する拠点とし「平和の尊さ、戦争の悲惨さ」を発信していくことをうたった、「満蒙開拓平和記念館」が阿智村に開館しました。

平和への願い

悲しみが書かれていました。

私の両親も黒姫郷開拓団員として満洲に渡りました。ソ連国境に近い北満の厳寒期は零下40度近くの日もあったと体験記に書かれています。

両親は満洲での生活を一言も口にすることなく心を閉ざしたまま人生を終わりました。「ソ連侵攻」「逃避行」「収容所生活」等、全ての記憶を忘れようとしなければ生きてこれなかった両親の思いを強く感じます。

満蒙開拓の本を読み、高社郷の集団自決に涙しました。自決計画が発表され、我が子を抱いて背後から銃殺される人、幼い子どもを背負い逃げ続け、そして最後には我が子を銃殺されなければならなかった母親の思いが書かれていました。

（人権教育推進委員 大川新吉）



タイトル／金子すみれ

No.44 華表橋

県道長野荒瀬原線の鳥居川に架かる橋の名前です。

「とりいばし」と読みます。

以前からよく通っていたのに全く知らずにいました。きっかけは偶然広げていた本の中にありました。えっ！この字で「と



栄町区から深沢へ向かう橋

りい？」鳥居川の鳥居じゃないんだ…。

歴史ふれあい館館長さんから教えて頂いた資料「大漢和辞典」に「華表―神社の鳥居の漢譯語」とあり、また広辞苑にも「鳥居―華表の意もあり」と出ています。

この橋が「華表」と付けられた経緯はわかりませんが、「三水村誌」には、明治33年華表橋架換に関して「明治21年開通した信越線により 明治25年に改修された橋が破損」とあり、「翌年の大降雨によりすべて流失してしまった」との記述がありました。明治には「華表橋」と呼ばれていたんですね。

鳥居川は源流が戸隠神社の鳥居の側を流れていることから付けられたと聞いていますので、その川に架かる橋だからでしょうか？

華表橋は幾度も流失にあっているようで、大正15年12月には鉄筋コンクリートの永久橋に架け替えられました。昭和34年に県道となったそうです。昭和59年3月に作られたのが現在の橋です。国道18号線、普光寺の信号から福祉センターの側に架かるのは「鳥居新橋」となっています。

（平井）

就任のごあいさつ



公民館長
小林 浩道

平成から令和への節目の年、8代目の町公民館館長を引き継がせていただきました。その任の重さを感じつつ、楽しんで励みたいと思います。

公民館は社会教育機関です。とはいえガチガチの「教育」「学習」といったスタイルではなく、「つどい」「まなぶ」「むすぶ」という機能を有しています。いろいろな人と顔を合わせ、同じ空間に集い、その様々な関わり合いの中で生活に向き合った学びを生む。そして、人とグループや団体がつながるネットワークをつくる場所となります。これは他の公共施設にはない大きな特徴です。町内27分館。その活動や役割は様々ですが、人づくり・地域づくりを担っている点では共通していると思います。本館としてももちろん地域に根付き、息づいて、人と人をつなぐ核となるよう、地域のお茶の間となるよう努めてまいりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

就任のごあいさつ



副公民館長
中嶋 映男

た。元より不知案内な私にとつて不安が先行いたしますが、お引き受けした以上は微力ながら館長の補佐として精進する覚悟であります。公民館事業に関わることは子供からご年配の方々まで幅広く多岐にわたりますが、刺激を受けながら重責を全うしたいと思えます。どうぞご指導・鞭撻の程宜しくお願い致します。

元号が変わる新たな年に飯綱町教育委員会より副公民館長を拝命いたしました。

退任のごあいさつ



前公民館長
木賀田 則夫

時代は、平成から令和に変わろうとしています。

2年間多くの住民の皆さん方、分館役員の皆さん、そして公民館職員のおかげで、無事に任期を全うすることができました。

高齢化社会、社会経済の変化に伴って公民館運営が年々難しい状況が出てきております。…と、就任のあいさつで述べました。模索した2年間でした。

平和の春に あたらしく
郷土を興す よろこびも

公民館の つどいから、昭和21年に、作られた「公民館の歌」の二部より、集い・学び・結ぶ。
がんばれ飯綱町公民館。

JOCジュニアオリンピックカップ全国ジュニアスキー競技会

3月28日～3月31日



2019 JOCジュニアオリンピックカップが山ノ内町を会場に開催され、飯綱町から小柳花梨選手（普光寺）が長野県代表として女子ジャイアントスラローム（29日）に出場しました。全国各地から75名の選手が集まりコンマ1秒の世界で素晴らしい成績を残しました。

競技結果（ジャイアントスラローム）
中学女子 小柳花梨 18位

第13回飯綱町ラージボール卓球大会

3月3日



今年度13回目を迎えた大会には10代の子どもから70代の年配の方まで、幅広い年齢層の方に参加をいただき熱戦が繰り広げられました。三水B&G体育館内は、チームを応援する声やチャンスポールの空振りなどで失笑したり拍手したりする姿等、賑やかな場面が多かったです。各チーム予選リーグ戦を3試合行い、その後各部門に分かれ決勝トーナメント戦により、次のような成績になりました。

チャンピオンの部▼はらだみくす
チャレンジャーの部▼みんなでピンポン
ハッスルの部▼愛LOVE社協
スマイルの部▼スボ推

5/28～6/2
7/13～7/15
9/3～9/8

三水B&Gプール オープンのお知らせ

期 間 5月28日(火)～9月8日(日)

5月・6月 平日 9:00～19:00
土日祝 9:00～21:00

7月・8月・9月 9:00～21:00

7/6、7/7、7/29、
8/5、8/13～8/16、
8/19、9/8 9:00～17:00

※休館日 月曜日(ただし、夏休み中は9:00～17:00まで営業)
7月16日(振替休日)
その他、都合により臨時休館とする場合があります。

皆様のご来館を心よりお待ちしております。

問合せ先 三水B&G海洋センター
TEL253-8951

2019年度三水B&G海洋センター プール監視員アルバイト募集!

採用人数 15名程度
年 齢 高校生以上

採用条件 健康で作業ができ、かつプールで泳げる方

勤務場所 三水B&G海洋センター

雇用期間 2019年5月28日(火)～2019年9月8日(日)

勤務時間 午前8時30分～午後9時15分

(ローテーションにて、1日8時間以内の勤務とする)

業務内容 プール監視・受付・清掃業務等

賃 金 時給880円(一般)840円(高校生)

申込期間 2019年4月9日(火)～2019年5月10日(金)

申込方法 三水B&G又は町民会館に置いてある申込用紙に必要事項記入の上、三水B&G窓口へ提出ください。

第13回飯綱町民球技大会開催

日 時 7月7日(日)

会 場 ふれあいパーク運動場他

種目競技 ソフトボール・ソフトバレーボール・ふらばるバレー・ゲートボール

その他

雨天等で屋外競技(ソフトボール)が中止になった場合は、屋内競技(ドッジビー)の実施を予定していますので、ぜひご参加ください。

いいづな大学及びいいづな 教室申し込み受付開始



今年度も飯綱町独自の大学として、学びたい方ならどんなでも参加できるいいづな大学を開講します。内容は、「地域を知る」をテーマに歴史や文化等の幅広い分野の講座を用意しています。また、いいづな教室は、今年度19教室が開講予定ですが、こちらも老若男女どなたでも参加できます。

大学のみ、または教室のみの参加も可能ですので、お気軽にお申し込みください。詳しい内容については、全戸配布される申込チラシをご覧ください。

開催期間 令和元年6月5日(水)

大学は概ね1ヶ月に2回、水曜日

の午前となります。

教室は概ね1ヶ月に2回、火曜日、

水曜日、木曜日の午前または午後または夜間となります

申込み 5月10日(金)までに、飯

綱町民会館、保健福祉課、または社会福祉協議会に申込書をご提出

ください。

問合せ 飯綱町民会館

TEL253-6560



中学校図書館新着本

○東京クライシス 安生 正
○逃げ出せなかった君へ 安藤祐介

○探偵はぼっちじゃない 坪田侑也

○仏陀の小石 又吉栄喜

○鹿の王水底の橋 上橋菜穂子

○中野のお父さんは謎を解くか 北村 薫

○山海記 佐伯 一麦

○信州・善光寺殺人事件 梓林太郎

○ことわざ生活 あかいわ しゅうご

○現役東大生が選ぶ今読むべき100冊 西岡吉誠

○杉でつくる家具 グループモノ

公民館図書新着本

○落花 澤田瞳子

○住友を崩壊した男 江上 剛

○出会いなおし 森 絵都

○マジカルグランマ 柚木麻子

○遠慮しない生き方 鳥居祐一

○天皇家の想い 山下晋司

○スクエア 今野 敏

○1分で話せ 伊藤羊一

○くらしのきほん100の実践 松浦弥太郎

この他、中学校図書館・公民館図書室ともにたくさん入っています。

新会長あいさつ

飯綱町スポーツ協会長 小林 和人



4月の町スポーツ協会評議員会において会長に就任いたしました。もとより微力ではありますが、会長としての重責を果たしてまいりたいと思いますので皆様方のご指導、ご協力をお願いいたします。

さて、当協会は昨年4月に飯綱町体育協会から飯綱町スポーツ協会に名称を変更いたしました。スポーツ宣言日本によると、スポーツとは自発的な運動の楽しみを基調とする人類共通の文化であるとのこと。私たちは、スポーツを通じて運動の楽しみを享受し、多様な人々と感動を分かち合うことができます。スポーツの楽しみ方は人それぞれです。競技力の向上を目指すのもスポーツですが、体力の維持や向上、生きがいのためのスポーツもあると思います。スポーツ協会では、多くの皆さんがスポーツに親しんでいただけるよう今後も活動してまいりますのでご協力をお願いいたします。

心機一転、今年の活動がはじまります



4月6日(土)、飯綱町民会館ホールにて飯綱町スポーツ少年団の結団式が行われました。今年度も昨年同様9団体157名でのスタートになりました。



今年度新しく就任した服田本部長のあいさつの後、各クラブ指導者の自己紹介とそれぞれの団の今年度の抱負が紹介されました。また9団体を代表してFCイイズナススポーツ少年団の大槻光輝君から「心と体を鍛え楽しい活動になるように頑張ります。」との決意表明がありました。この言葉通り1年を通し友達とスポーツを楽しんでほしいと思います。

体協試合結果

■子どもの部

第38回いづなりリゾート杯
リーゼンスラローム大会

期日 2月3日(日)

会場 リゾートスキー場

大回転

○小学生男子低学年

3位 佐藤 翔

○小学生女子低学年

1位 今野 凜璃

○小学生高学年男子

1位 田中 利希

7位 井澤 颯佑

第16回小川スポーツふれあい
クラブ杯少年大会(フットサ
ル)

期日 2月9日(土)

会場 びっくらんど小川

○U-15

3位 飯綱・信濃

第13回長野米カップ県小学生
北信西ブロック大会(バレー
ボール)

期日 2月11日(月)

会場 千曲市戸倉総合体育
館

○男子

3位 三水ジュニア

飯綱町ゲートボール連合冬季
大会

期日 2月10日(日)

会場 ふれあいパーク屋内
ゲートボール場

優勝

川上

準優勝

柳町

3位 牟礼

参加者募集

第14回町民ゴルフ大会のお知らせ

期 日 8月4日(日)

会 場 長野国際カントリークラブ

申込期間 6月11日(火)～7月2日(火)

申込人数 先着200名

申込場所 詳細は後日、無線放送でお知らせします

スポーツ事業開催のお知らせ

スポーツ協会会長杯テニス大会	5月18日～19日
霊仙寺山開山祭	6月2日
飯綱カップバスケットボール大会	9月8日
町長杯ソフトボール大会	7月14日
スポーツ協会杯親善バドミントン大会	2年2月2日
飯綱リゾートスキー大会	2月2日

アルバムから こんにちは80

お花見でつながる

地域の輪

こちらの写真は、昭和31年の春、小玉地区の「ふしみ会」の皆さんがお花見をしている様子です。場所は国道18号線沿いで、現在も綺麗な桜並木を見ることが出来ます。

町内の桜スポットといえば、地藏久保のオオヤマザクラや袖之山のシダレザクラが思い出されますが、桜を眺めながらお酒や食事を楽しむ、いわゆる「お花見スポット」は、この写真を見るまで思いつきませんでした。



この辺りのお花見の名所といえば、長野市や須坂市、上越市にある公園が有名で、毎年多くの花見客でたいへん賑わっており、飯綱町の皆さんも家族や友人と、一度は出かけたことがあるのではないのでしょうか。現在は、地域のみんなで、地元の桜の下で和気あいあいとお花見することが少なくなっています。この写真は地域のつながりや団結が感じられる一枚ですね。みなさんも、この写真のように、地元の桜の下で、地域の人を誘ってお花見をしてみたいかがでしょうか。

(木賀田 宏之)

「死後の世界」というと皆さんはどんなことを考えますか？これは最近私が読んだ本のタイトルです。著者は宜保愛子さんです。30歳以下の方はほとんど知らないかもしれませんが、今から25年くらい前に、テレビでとんねるずさんと共演をしていた霊能者の方です。今で言うところの「この世」に生まれかわるのを早めるなど、啓之さんといったところでしょうか。子どもから、幽霊を信じていて、ゲゲの鬼太郎や、地獄先生ぬ〜べーなど漫画も大好きだった私は、大人になった今も、スピリチュアルな世界に興味があり、江原啓之さんや、美輪明宏さんなどの本をブックオフで見つけては読んでいます。大体似たような内容ですが、少しずつ表現が異なっています。なかでも宜保愛子さんの本が、非常に分かりやすく書いてありました。仏壇やお墓に花をお供えるのは、霊が霊界「あの世」で進む道を分かりやすくする効果があるとか、先祖供養をしないと霊が輪廻転生して「この世」に生まれかわるのを早めるなど、というようなものです。昔からの習慣や仏教としてのお墓参り、先祖供養はなんとなくイメージがありましたが、そのように捉えるのとよりイメージしやすくなるなど感じました。皆さん、どう思いますか？

(飯田 安彦)

「俳句」

(飯綱俳友会)

ごろごろとなかなか去りぬ春の雷

小林 寒鳥

うつつにて見まほし京の花簪

龍野 由子

作立ちのマメトラを追う家鴨かな

田宮 秀英

挨拶のはずむ作立ち弥生尽

中嶋 良秋

キーンキンと水琴窟に遅き春

泉井 清

鳴き声を混せて聞き入る百千鳥

富岡 幸修

ごろごろと空に遊びし春の雷

荒川 しげの

彩りも異なる声音百千鳥

日野 秀静

さらさらと平成愛しむ春の雪

名古 との

夕闇は香り漂う花簪

前野 泉

「短歌」

もどり雪今年最後からちらちらと

白いちりめん春の野原に

町田 智頭子

孫娘入学記念の桜の木

門出祝うかつばみ膨らむ

金井 幸江

快氣とて盛りあがり咲くサイネリア

給ひしわれも癒されてをり

外山 吉恵

恒例の兄弟会の済みたれば

煽てにのりて達者にすごさむ

大川 富美子

～いっぴなっ子くらぶ紹介～



【飯綱権現太鼓】

りんごの里まつりに出演！
他にも多数イベントで出演しました。

平成30年度のいっぴなっ子くらぶでは5月から2月までそれぞれ7くらぶに分かれ活動を行い延べ102名の小学生の参加がありました。

複数のくらぶに加入している人もおり、また新しく始まった絵ぼっこくらぶも大好評！例年を上回る人数が集まりました。

日頃あまり体験できないことを真剣に、また楽しく夢中になって取り組んでいるくらぶ員！そんないっぴなっ子たちの1年間の活動の様子をご紹介します。



【茶道】
先生の動きをよくみて難しい作法やお点前を覚えよう。



【絵ぼっこ】
描き方のポイントやコツを学ぼう。



【料理】
たくさん料理に挑戦しよう！今日は何かを作るかな？



【囲碁】
友だちや先生と真剣勝負。



【生花】
季節のお花を生けます。花の切る位置やバランスが重要です。



【陶芸】
自分だけの作品を作ろう！

2019年度は、権現太鼓・料理・絵ぼっこ・囲碁・生花・陶芸・茶道の7くらぶを開講予定です。
大勢のみなさんのご参加をお待ちしています！